

衆議院議員の秘書として、追手門学院の地域連携担当者として、
北摂・茨木のまちづくりに参画してきた実績を茨木市政へ。

いばらきに、**矢**をはなつ！

市民目線の大胆な改革に挑戦！（政策は裏面へ）

『矢島ひでかず後援会ニュース』創刊号目次

- 特集① 矢島ひでかずプロフィール … P. 1
- 特集② 毎朝挨拶＆清掃活動実施中 … P. 1
- 特集③ 矢島ひでかズの重点 6 政策 … P. 2



やじま
矢島ひでかず

後援会ニュース 創刊号

〔編集・発行〕 矢島ひでかず後援会

〒567-0817 大阪府茨木市別院町 4-1-704

☎ 090-3928-6958

✉ info@yajima-hidekazu.com

HP <http://yajima-hidekazu.com>

FB <http://facebook.com/yajima.hidekazu>

■特集① 矢島ひでかずプロフィール

昭和 55 (1980) 年 10 月 13 日 聴覚障害者の両親のもと、京都市内に生まれ育つ。(満 36 歳)

- 【経歴】
- 平成 15 (2003) 年 3 月 追手門学院大学 文学部 (現・国際教養学部) 卒業
 - 平成 18 (2006) 年 3 月 追手門学院大学大学院 文学研究科 修士課程 修了
 - 平成 18 (2006) 年 4 月 衆議院議員大塚高司 秘書<～平成 21 (2009) 年 11 月>
 - 平成 23 (2011) 年 4 月 学校法人追手門学院 職員<～平成 28 (2016) 年 10 月>
 - 平成 28 (2016) 年 11 月 現在、13 年間お世話になった茨木市の未来のために活動中

- 【現在】
- 自由民主党茨木市支部 広報副部長
 - 一般社団法人茨木市観光協会 会員
 - 茨小校区自治会連合会 別院町自治会 会員
 - 追手門学院大学校友会 理事
 - 追手門学院大学体育文化 OB・OG 連合会 事務局長



↑ 安倍首相の手話通訳を務める

■特集② 毎朝挨拶＆清掃活動実施中

矢島ひでかズの政策をお訴えさせていただくにあたり、まずは、顔と名前を覚えていただきたいと、退職翌日の 11 月 1 日より毎朝、市内全 10 駅のいずれかの場所でご挨拶に立たせていただいております。

毎週 月・水	曜日	7:00	～	9:00	J R 茨木 駅
毎週 火・木	曜日	7:00	～	9:00	阪急茨木市駅
毎週 金	曜日	7:00	～	9:00	南茨木両 駅
毎週 土日祝	曜日	9:00	～	11:00	他の市内 6 駅

※上記の時間帯につきましては、変更となる場合があります。



↑ 茨木駅



↑ 南茨木駅



↑ 茨木市駅



↑ 総持寺駅



↑ 彩都西駅



↑ 豊川駅



↑ 阪大病院前駅



↑ 宇野辺駅



↑ 沢良宜駅

■特集③ 矢島ひでかずの重点 6 政策

茨木市議会議員一般選挙の投票日は 1 月 22 日 (日) に決定いたしました。これを受けて、自民党茨木市支部では、現在の議員定数である 30 議席から 2 議席削減、28 議席にする案を 12 月議会にて提出予定です。ここで、矢島ひでかずが“いばらきに、矢をはなつ！”6 本の矢をご紹介します。

改革の矢

全国各地の地方議会で噴出している「政務活動費」の不正受給問題。市民の皆様の貴重な血税をないがしろにする、議員にはあるまじき行動に私自身も強い憤りを覚えます。従来の議員特権に鋭いメスを入れ、「行財政改革」にも着手し、皆様からの信頼を取り戻します。



↑ 写真左より茨木市選出の総務副大臣・原田憲治衆議院議員、矢島ひでかず、福岡洋一茨木市長とのスリーショット

教育の矢

小学校段階からの「アクティブ・ラーニング(課題解決型学習)」の導入を図り、“自ら考える力”を育む初等教育を実現します。また、追手門学院職員として「おうてもんジュニアキャンパス」を企画・実施した実績を生かし、市内 5 大学とも連携した教育を実現します。

経済の矢

駅前周辺整備を積極的に行い、大型小売店舗の進出によって活力を失いつつある「商店街の活性化」を目指します。また、「市営駐車・駐輪場の完全 24 時間化」で、利便性の向上を目指します。さらに、国道沿いに見山の郷モデルの施設を開設し、農業振興を支援します。



↑ 阪急「茨木市」駅にて安倍晋三首相と

交通の矢

市内中心部の主要道路が片側 1 車線であるために慢性化する「交通渋滞」。持ち前の若さと行動力を生かし、地元商店街や市民の皆様の意見を伺い、経済損失となっている現状打開のため、国・府議会議員とも緊密に連携しながら、「渋滞緩和・解消」に取り組みます。

福祉の矢

聴覚障害者を両親に持つ者として、また、政権与党であるからこそ、少数意見であったとしても、その声にしっかりと耳を傾け、皆様がお困りの課題には「会派を超えて取り組む柔軟性」を大切にいたします。高齢者や障害者、「誰もが輝ける市政」の実現を目指します。



↑ 写真左より大塚高司衆議院議員、矢島ひでかず、矢島ひでかず後援会の川原俊明会長(学校法人追手門学院理事長)

保育の矢

市内の待機児童数は 147 名 (平成 28 年 4 月 1 日現在)。政令・中核市を除き、“府内ワースト 1” だった昨年は 39 名減と改善しておりますが、依然、「ワースト 2」の位置に甘んじています。「待機児童ゼロ」を実現、働く女性が早期に復帰できる環境を整備します。

物心のついた頃より、私の役割は、両親の耳代わりとなって、周囲の音や声を伝えることでした。こうした経験から、市民の皆様の貴重なご意見にしっかりと耳を傾け、市議会に届けてまいります。また、自民党最年少の新人として、しがらみのなさを生かし、市民目線の大胆な改革に挑戦します。